

- この製品は、犬、猫専用ペットカートです。
- 望ましい連続使用時間：1時間以内
- 使用できるペットの条件：2匹以下、合計体重 15kg 以下
- ご使用中は、つねにペットおよび周囲の安全にご配慮いただき、公共のルールとマナーを守って、正しくご使用いただけますようお願いいたします。

	ワンポイント 補足説明
---	---------------------------

ベットのリードを、ハンドルなどにつかないでください。ペットカートが
 転倒するとそれがあります。
 ペットカートに同時に3匹以上のペットを乗せたり、ペットをキャリー以外
 のとこに寄せないでください。
 ご使用中にハンドルの寄りがかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過
 度の荷重はかけないでください。
 ベットは思わぬ動作をしますので、ご使用中はつねに目を離さず、十分注意し
 てご使用ください。
 ペットカートは空車であっても坂の途中、車道に近しい歩道上など危険な場
 所に放置しないでください。

- ❶ 雪が積もっているところや凍結したところなど、すりやすい路面では使用しないでください。ペットカートだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。
- ❷ 風の強いときは使用しないでください。
勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- ❸ 雨のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
長時間連続してのご使用は、ペットの負担となります。
1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- ❹ バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながる可能性があります。
- ❺ 本製品は、電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。
お客様のご責任により、本製品を電車の中で使用するときは、鉄道会社へ本製品の利用条件確認のと、ご使用ください。また、電車の中では、カーブや急ブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お手入れの際には取りはずした部品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですと思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があります。色や仕様が若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。修理が使用上は差しつかえありません。

ネットカートの「標準使用期間」は「新規購入後5年」です。

標準使用期間を超過した場合、製品の劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用法や環境、保管条件により故障する場合があります。この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の使用期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理メモ

- 荷買い上げ後、お買い上げ日、お客様名、販売店名をたてずにご記入願います。
- 領収書(シート)を本書といっしょに保管してください。
- 万一故障が生じた場合は保証書を提示してください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を約束するものです。従ってこの保証書によって故障の修理料を請求するものではありません。但し修理料を請求する場合は、必ずこの保証書と領収書を、当社コンシューマデスクへ、またはお買い上げの販売店へお送りください。
- 保証書記載の保証に利用した個人情報は、故障・修理の確認、修理後の送迎にのみ利用いたします。その他用途には利用いたしません。

※ 製品の仕様は改善などのために予告なしに変更することがあります。

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ(Customer Service Center)
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新271
受付時間：9:30～17:00(土日祝日、年末年始を除く)

■総合受付(各種ご相談) 窓口 商品に関するお問い合わせ / 修理のご要望 / 部品販売 / 各種ご相談 / その他
TEL(048)797-1004 FAX.(048)798-6109

【前輪】

※車体前方から見て左右を区別します。車輪を取り付けるときには、左右を確実に確認してから行ってください。

- ・前輪はキャスターの内側に「左」「右」のマークがあります。
- ・後輪はスッパの下部に「左」「右」のマークがあります。

【前側】

- 幌
- 窓カバー (前後)
- 幌窓 (前後)
- フック (前後各2カ所)
- キャリア窓 (前後)
- キャリア窓カバー

【後側】

- 窓カバー
- 幌窓
- キャリアカバー

キャリア窓 (前後)
 キャリー内の換気がしやすくなります。
 キャリー出入口 (メッシュ) ※前側のみ
 フラスナーで開閉する出入口です。

【底面】

- ゴムベルト (2本)
- 底板
- 専用リード (2本)
- リード固定用ループ (底面 / 左右)
- キャリーステー (2本)
- キャリーステーベルト
- キャリーフレーム

(※上図は、底板をはしたイラストです)

- **キャリーカーバー、底床カバー、買い物カゴの洗濯**
 - 水、またはぬるま湯にて手洗いしてください。
 - 洗剤のみで洗いはしないでください。
 - 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読ください。
 - 長時間の放置をさぐ。短時間で洗ひ上げてください。色落ちの原因となります。
 - 十分にすすぎ、乾か、軽水にした後、形を整えて陰干してください。
 - 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- **机、専用リード、キャリーベルト、キャリステールボードの洗濯**
 - 機、専用リード、キャリーベルト、キャリステールボードは溶液中につく。水、またはぬるま湯の洗剤をついたブラシやスポンジなどを使用して、汚れを落とさ取ってください。
 - 洗剤を使用し汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
 - 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干してください。
 - 機やキャリーボードのプラスチック部分などが刃をなないように注意してください。
 - 機やキャリーボードには取りずすことができます。
 - 製品の特性上若干色あせすることがあります。
 - 洗剤の濃度や使用量を必ずお読みください。塩洗剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹のおそれがありますので使用しないでください。
 - 保管状態により、カビが発生する可能性があります。こまめに洗濯を、清潔に保つよう心がけてください。

●きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず、潤滑油（シリコンコース）を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほごりが付きすぎ、かえって機能を低下させます。

●右に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

● 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。

● 車体やキャリヤに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。

▲ 注意

● 車体を立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。車体が動き出し転倒するおそれがあります。

● 車体を覆かせて保管する場合は、横向きに覆かせたりしないでください。故障や変形の原因となります。



注意 車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

車体を持ち上げた状態では折りたたみレバーを握っても開かないおそれがあります。車体を地面につけた状態から折りたたみレバーを握り操作してください。

折りたたみのロックを解除する。

手元ロックスライダー

この位置で解除

折りたたみレバー

自動フック

ハンドルグリップ

手元ロックスライダー

この位置でロック

⚠ 注意

2面折りの状態では車体を自立させることができません。自立させる場合には、3面折りにしてください。

注意 2面折りの状態では車体を自立させることができません。自立させる場合には、3面折りにしてください。

タイヤ(前輪・後輪)の取り付けかた・取りはずしかた

- 車輪には前・後・右・左があります。梱包時、後輪のみははずしています。各車輪の左右は「各部のなまえ」をご参照ください。
- 取り付け・取りはずしは車体を開いた状態で行ってください。

警告

- 車輪の取り付けは、そばに人(特に小さいお子さま)やペットを近づけずに行ってください。
- 全車輪の取り付けが確実に終わるまで、ペットを乗せないでください。ペットカートが転倒するおそれがあります。
- 車輪を取りはずすときは、ペットカートからペットや荷物をおろし、安全な場所で行ってください。ペットカートが転倒したり、ペットや荷物が落ちるおそれがあります。
- 車輪がスムーズに回転しない場合やキャスターから異音が出る場合は、異物がはさまっている可能性があります。車輪を取りはずし、砂や石などがはさまっていないことを確認してください。

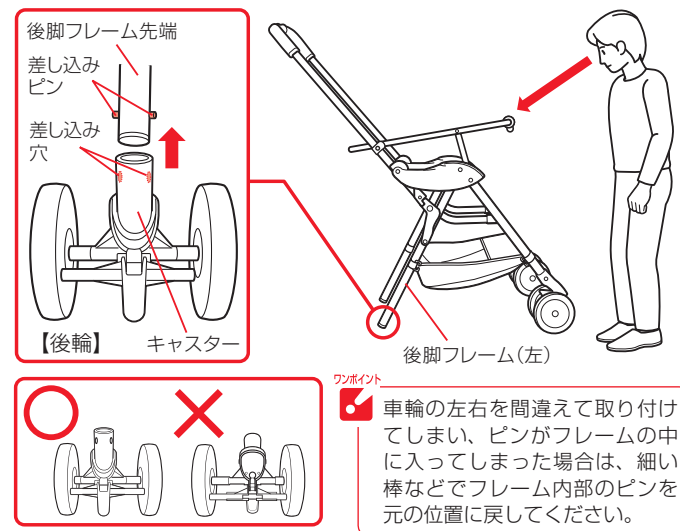
注意

- 車輪取付部は、ストッパーの機能や車輪の回転に関わる重要な部分です。ぶつけるなど乱暴に扱ったり、ゴミや異物を入れたりしないでください。
- 取り付けや取りはずしの際、手や指をケガしないように注意してください。
- 車輪の取り付けを行うときは、必ず車輪の左右を確認して行ってください。取り付け間違えると、ペットカートが破損するおそれがあります。また、ペットが落ちるおそれがあります。
- 車輪やその他の部品をはずした状態で保管しないでください。

- 取り付けかた**
1. 車体を右図のように開いた状態にする。
 2. キャスターの向きと車輪の左・右を確認して取り付け。
 3. 後脚フレーム先端のピンを押して、キャスターの差し込み穴をピンにあわせ、「カチッ」と音がするまで、それぞれ差し込む。
 4. 差し込み後、2～3回引っぱり車輪が抜けないことを確認する。

- 取りはずしかた**
1. 車体を開いた状態にする。
 2. 細い棒で同時にピンを押して、車輪をはずす。

ここでは「後輪の取り付けかた・はずしかた」を説明していますが、前輪をはずした場合、「後輪の取り付けかた・はずしかた」と同様です。
※車輪には右・左があります。各部品の右・左は車体前方から見たときの方向で区別してください。

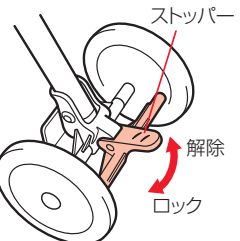


ストッパーの使いかた

ペットカートを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。路面状態や使用状況により、車輪が浮く場合がありますが、使用上問題ありません。

- 警告**
- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
 - ペットを乗せたままペットカートから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけてください。ペットカートが動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 注意**
- 空車であっても、ペットカートから離れるときは、必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

1. 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。
2. ペットカートを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。

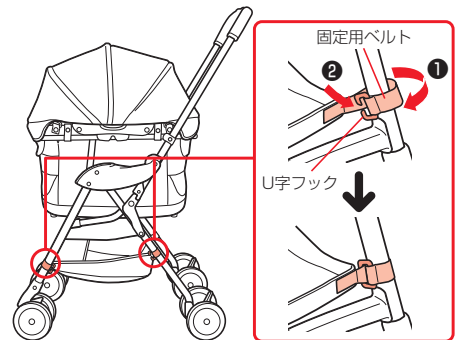


買い物カゴの取り付けかた・使いかた

- 注意**
- 3kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
 - 角のとがったものや、買い物カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下や買い物カゴの変形およびやぶれの原因となります。

- ① カゴ前後左右の固定用ベルトを、前脚後脚にベルトを巻きつけ、
 - ② U字フックにはさみ込んで取り付ける。
- 取り付け後、しっかりと固定されているか、引っぱって確認する。

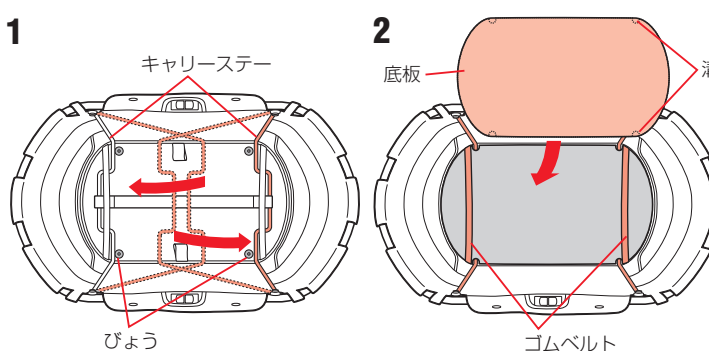
●荷物について
できるだけ買い物カゴの底に均等に荷重が加わるようにのせてください。



キャリーの開きかた・たたみかた

開きかた

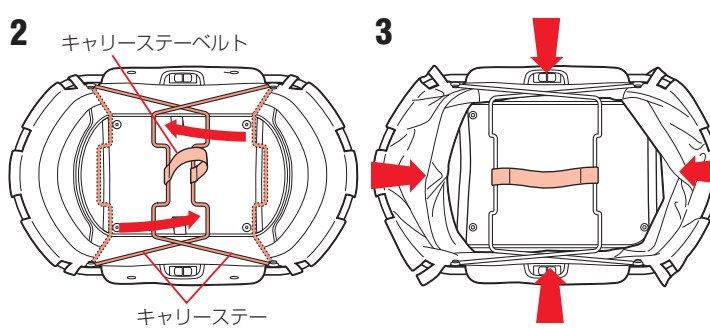
1. キャリーステア(2本)を広げる。
底面にある4カ所のびょうを乗り越え、キャリーステアベルトを完全に伸ばしてください。
2. ゴムベルトに底板をくぐらせ、底板の溝とキャリーステアの位置をあわせて、底板を入れる。
底板は、クッションが入っている面を上にしてください。



- 注意**
- キャリーステアを広げたり、たたんだりするときは、指や手などをはさまないように注意し、操作してください。
 - 底板は必ず使用してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 専用リードは必ず底板の上に出してください。
 - 使用しない専用リードは、必ず取りはずしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

たたみかた

1. 底板をはずす。
2. キャリーステアベルトを引き上げながら、キャリーステア(2本)をたたむ。
3. キャリーをたたむ。

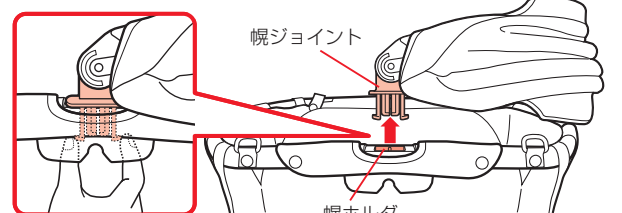


- 注意**
- キャリーステアを広げたり、たたんだりするときは、指や手などをはさまないように注意し、操作してください。
 - 底板は必ず使用してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 専用リードは必ず底板の上に出してください。
 - 使用しない専用リードは、必ず取りはずしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

幌の取り付けかた・はずしかた・使いかた

はずしかた

1. 幌前後のフック(各2カ所)をはずす。
(右記の「使いかた」参照)
2. 幌ジョイント下端のツメをつまみながら、幌ジョイントを幌ホルダーから上に引き抜く。



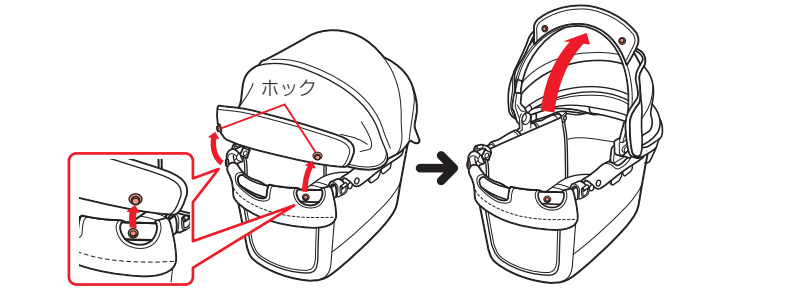
取り付けかた

幌ジョイントを幌ホルダーにしっかりと差し込む。

- 注意**
- 幌の取り付け操作は、そばに人(特に小さいお子さま)やペットを近づけずに行ってください。指や手などをはさんだりするおそれがあります。

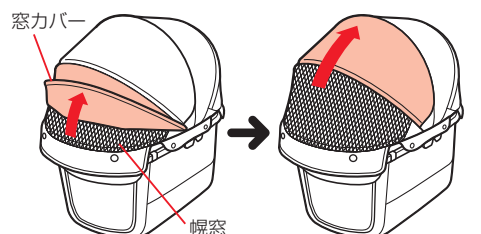
使いかた

開くとき : 幌の前または後のフック(各2カ所)をはずし、幌を開く。
閉じるとき : 幌を閉じて、幌前後のフック(各2カ所)でとめる。



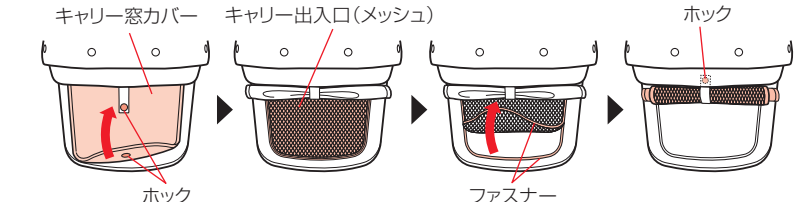
幌窓の使いかた

幌前後の窓カバーをめくり上げ、幌窓を開ける。



キャリー出入口の使いかた

開くとき : キャリー窓カバーをめくり、次にキャリー出入口(メッシュ)のファスナーを開け、図のようにキャリー窓カバーと一緒にまとめてフックでとめる。

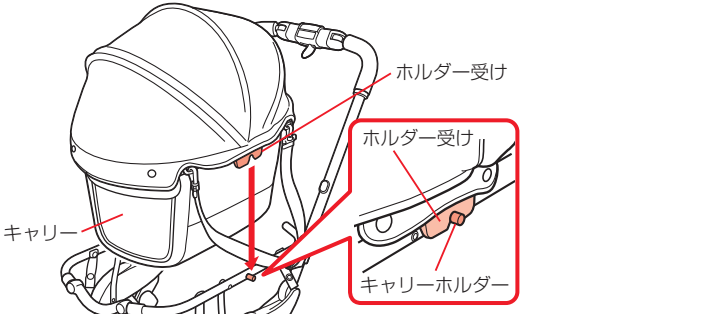


閉じるとき : フックをはずし、キャリー出入口(メッシュ)のファスナーを閉じ、キャリー窓カバーをもとの状態にする。

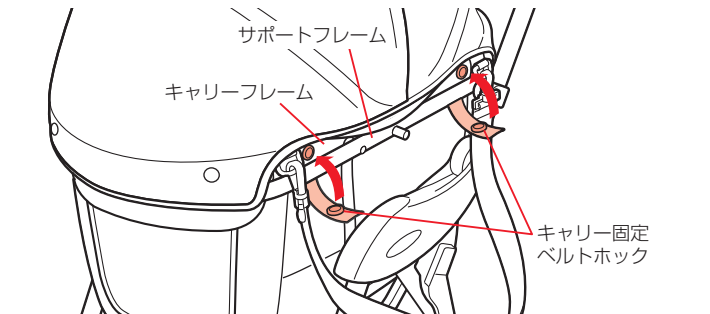
- 注意**
- ペット(目安の体重は7kg)の大きさや体形により入りが難しい場合があります。
 - 車体に取り付けている場合は、キャリー窓の開閉は行わないでください。ペットが落下するおそれがあります。

キャリーの車体への取り付けかた

1. キャリーをサポートフレームのキャリーホルダーにあわせておろす。
2. サポートフレームのキャリー固定ベルトフック(左右各2カ所)をキャリーフレームにとめる。
3. キャリーベルトのフック(左右各2カ所)をはずし、キャリーベルトを取りはずす。

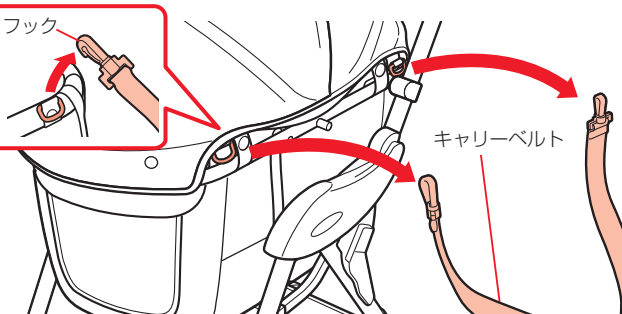


- 警告**
- キャリーを取り付けるときは、必ずストッパーを使用してください。ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 注意**
- キャリーとサポートフレームのすき間に指や手などをはさまないように注意してください。



- 警告**
- ペットカートとして使用するときは、必ずキャリー固定ベルトフックをためてください。キャリーが落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

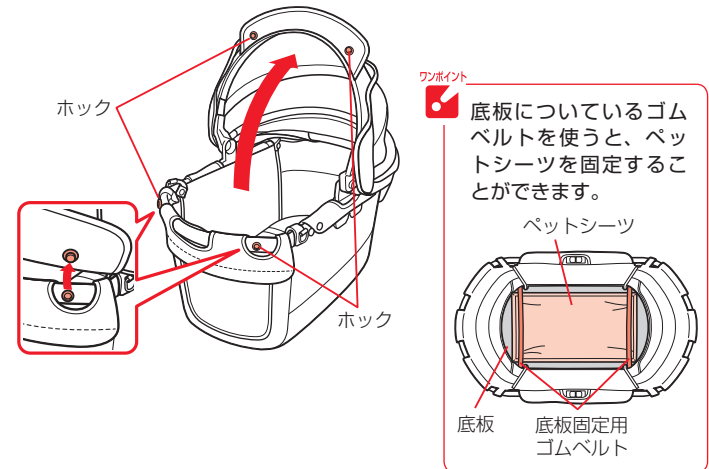
3. キャリーベルトのフック(左右各2カ所)をはずし、キャリーベルトを取りはずす。



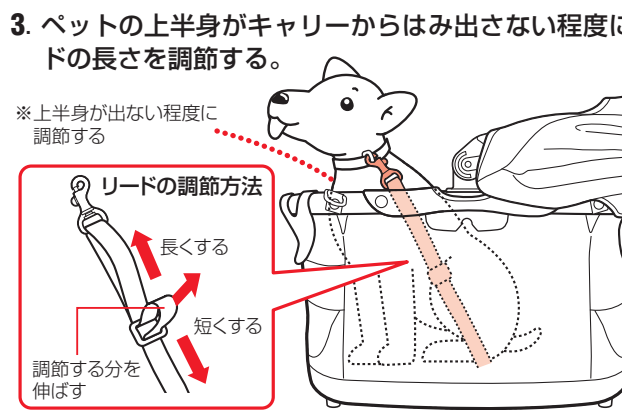
- 注意**
- ペットカートとして使用するときは、必ずキャリーベルトをはずしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

ペットの乗せかた

1. 幌の前または後のフック(各2カ所)をはずし、幌を開く。
2. ペットを乗せて、専用リードにつなぐ。
3. ペットの上半身がキャリーからはみ出さない程度に専用リードの長さを調節する。



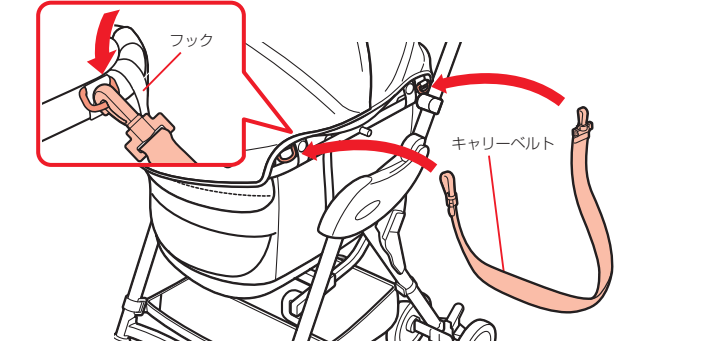
- 警告**
- キャリーやペットカートとして使用するときは、必ず専用リードを使用してください。また、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。ペットが落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ペットの乗せおろしするときは、必ずストッパーを使用してください。ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりキャリー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。



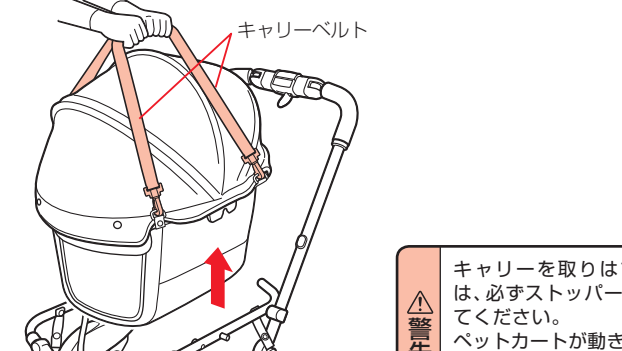
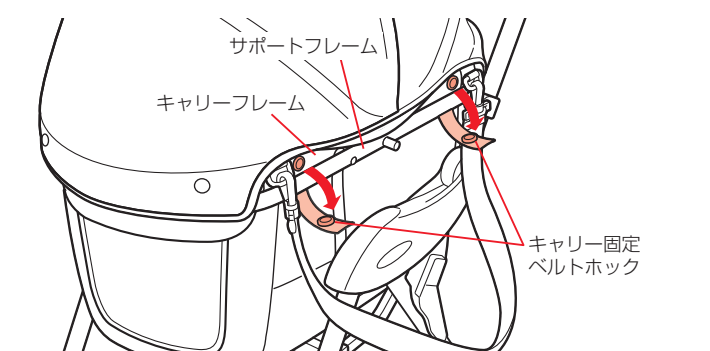
- 注意**
- 専用リードの長さは、必ず調節してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 電車の中で利用する際、周りに人がいる環境では、幌を開けてください。また、フック(4カ所)が確実にとめてあることを確認してください。

キャリーの取りはずしかた

1. キャリーベルトのフック(左右各2カ所)を上からとめ、キャリーベルトを取り付ける。
2. サポートフレームのキャリー固定ベルトフック(左右各2カ所)をキャリーフレームからはずす。
3. キャリーベルトを持ってキャリーを持ち上げ、取りはずす。



- 注意**
- フックの向きは、図のとおり上から取り付けてください。逆に付けると、キャリーベルトが外れるおそれがあります。



- 警告**
- キャリーを取りはずすときは、必ずストッパーを使用してください。ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

キャリーの持ちかた

キャリーベルト(2本)を両手でしっかりと握り、持ち上げる。

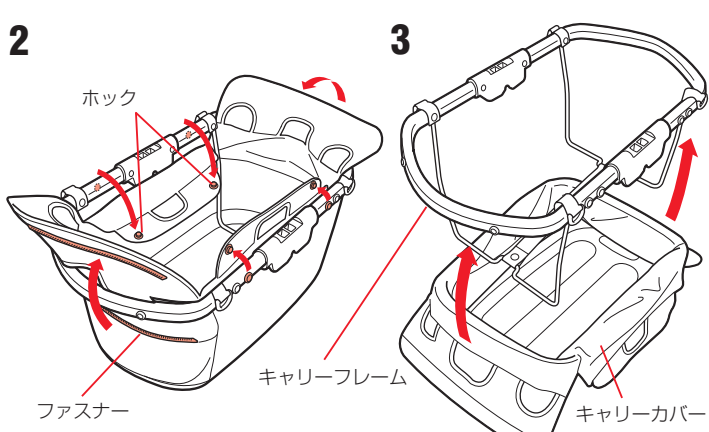


- 警告**
- キャリーは、必ず両手を使って持ち運んでください。キャリーが落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - キャリーをテーブルやイスの上など落ちるおそれのある場所や階段・段差・傾斜のある場所、また、タイルなどすべりやすい場所での使用はやめてください。落下や転倒などのおそれがあります。

部品の取りはずしかた・取り付けかた

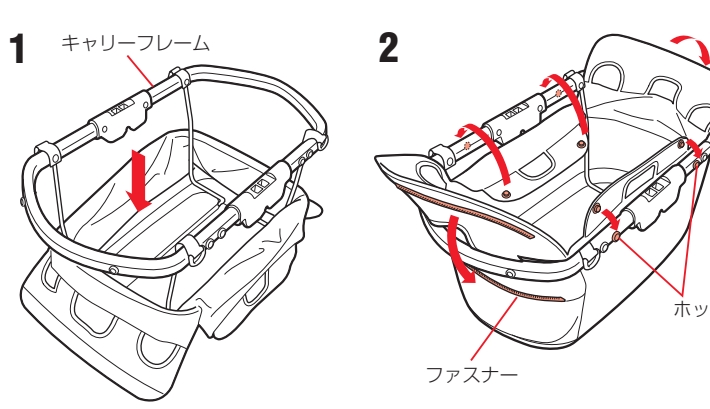
キャリーカバーの取りはずしかた

1. 幌をはずす。([「幌のはずしかた」参照])
2. ファスナー(2カ所)をはずし、フック(4カ所)をはずす。
3. キャリーフレームからキャリーカバーを取りはずす。



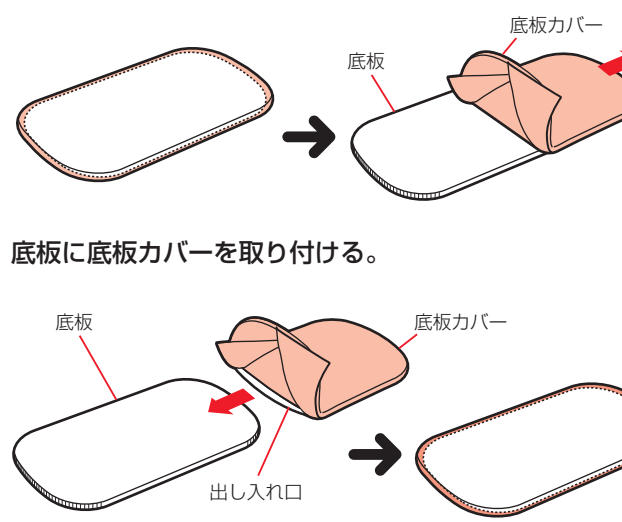
キャリーカバーの取り付けかた

1. キャリーステアを広げてキャリーフレームをキャリーカバーに入れる。
2. キャリーカバーのフック(4カ所)をとめ、ファスナー(2カ所)をとめる。



底板カバーの取りはずしかた・取り付けかた

底板から底板カバーを取りはずす。



専用リードの取りはずしかた・取り付けかた

U字フックをはずし、専用リードをキャリー底面のリード用ループから引き抜く。

